

大阪樟蔭女子大学 × (株)近鉄百貨店

女子大生の発想を生かした婦人洋品を商品化

学生と近鉄百貨店が共同開発した婦人洋品が3月5日(木)~25日(水)、あべのハルカス近鉄本店に並びました。学生がデザインを担い、メーカー6社が協力して傘や扇子、帽子、ハンカチ、ストールなど8点を商品化。

商品づくりは被服学科、ライフプランニング学科、インテリアデザイン学科の学生25人が参加して2014年7月にスタート。8チームに分かれ、それぞれのチームが1つの商品を担当し、試行錯誤を重ねながら開発しました。

女の子のわがままを詰め込んだ晴雨兼用パラソル、家庭で洗濯できる和柄ストール、皮脂取り効果もあるハンカチ、ありそうでなかった帽子など女子大生の発想を生かした商品ばかり。学生はアイデアが形になってうれしいと喜んでおり、お客さまからも「使ってみたい」と好評でした。

21日(土)には百貨店で商品をPRするファッションショーも開催。学生が8つのコラボ商品を活用したショーの構成を考え、お客さまを楽しませました。



活動報告

大阪樟蔭女子大学 × カバヤ食品株式会社

健康栄養学科の学生とカバヤ食品(株)が新商品を共同開発

健康栄養学科の学生とカバヤ食品株式会社(岡山市)が共同開発したキャンディとプレッツェルの新商品がコンビニやスーパーで販売されました。「これおいしいぞ!キャンディ」は1袋にフルーツ味4種とミルク味を入れ、小袋には関西弁のメッセージをつけました。「うどんプレッツェル」は本格的なダシ風味を実現すべく大手うどんチェーン「丸亀製麺」とコラボを実現しました。

日本経済新聞社との連携講座の一環で、学生たちは8カ月にわたって市場調査や試作を繰り返し、工場見学やバイヤーとの商談にも参加。自分たちの思いを製品にどう生かせるかを考え、完成させました。



学生表彰

3月に学生表彰が行われ、学業や課外活動等において顕著な成績を収め、他の学生の範となった学生に対し、その功績を讃えました。学業優秀者表彰では、森平蔵賞が卒業生17名に、学業奨励賞が2~4回生44名に贈られ、課外活動等表彰では学長賞が2団体と2~4回生の個人4名に贈られました。

(1) 学業優秀者表彰 学業において研鑽に励み、他の学生の範となった個人を表彰します。

■森平蔵賞(平成27年3月卒業生)

在学中の学業成績が評価され、学園創設者森平蔵氏の名を冠した賞。卒業年次の学生に贈られます。

- (大学院・臨床心理)
- (大学院・化粧品ファッション)
- (国文/国文学)
- (国文/創作表現)
- (国文/キャラクター文芸)
- (国際英語)
- (健康栄養/管理)
- (健康栄養/食物)
- (被服/被服)
- (被服/化粧品)
- (被服/美容)
- (インテリアデザイン)
- (ライフプランニング)
- (心理/臨床)
- (心理/発達教育)
- (心理/ビジネス)
- (児童)

■学業奨励賞

26年度中の学業成績が評価され、次年度以降もたゆまず学業研鑽に励まれるよう期待を込めて贈られる賞。※()内は回生を記載。

◆国文/国語・国文学コース	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)	◆インテリアデザイン	—	—	●●●●●(4)
◆国文/創作表現コース	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)	◆ライフプランニング	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)
◆国文/キャラクター文芸コース	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)	◆臨床心理	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)
◆国際英語	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)	◆心理	●●●●●(2)	●●●●●(3)	—
◆健康栄養/管理栄養士専攻	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)	◆発達教育心理	—	—	●●●●●(4)
◆健康栄養/食物栄養専攻	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)	◆ビジネス心理	—	—	●●●●●(4)
◆被服/被服学専攻	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)	◆児童	●●●●●(2)	●●●●●(2)	●●●●●(3)
◆被服/化粧品専攻・化粧品文化コース	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)		●●●●●(3)	●●●●●(4)	●●●●●(4)
◆被服/化粧品専攻・美容コース	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)				

(2) 課外活動等表彰 課外活動において優秀成績を収めた個人または団体を表彰します。

■学長賞 個人

●●●●●(ライフプランニング2回生)

【理由】新体操において、国内・国際大会で優秀な成績を残し、活躍しました。

▲▲▲▲▲(ライフプランニング3月卒業)

【理由】「ハピタットフォー・ヒューマニティ」というボランティア団体に参加し、スリランカにおいて、国際ボランティア活動をおこない地域援助に貢献しました。

■●●●●●(児童3回生)

【理由】「第15回大阪国際音楽コンクール」アマチュア部門シニアコースにおいて2位に入賞し、活躍しました。

★★★(児童3月卒業)

【理由】「第15回大阪国際音楽コンクール」アマチュア部門シニアコースにおいて1位に入賞し、活躍しました。

■学長賞 団体

KSK10 ●●●●●(ライフプランニング3月卒業)

【理由】「第15回大阪国際音楽コンクール」アマチュア部門シニアコースにおいて2位に入賞し、活躍しました。

【理由】小阪地域において「子どもの集まる商店街」のプロジェクトを行い、地域に貢献しました。

てんてこバスル ▲▲▲▲▲(ライフプランニング4回生)

【理由】ラジオCM製作に挑戦し、大阪広告協会主催のコンテストにおいて優秀な成績を収めました。

表彰



管理栄養士の国家試験
2年連続合格率100%

第29回管理栄養士国家試験の結果が5月に発表され、受験した管理栄養士専攻の新卒受験生72人全員が合格しました。2年連続の合格率100%は綿密な試験対策プログラムと教員のサポートが支えています。管理栄養士養成課程新卒者の合格率は95.4%でした。

精神保健福祉士の合格者数
3年連続全国の女子大No.1

1月に実施された第17回精神保健福祉士国家試験の結果が発表されました。心理学部の現役合格者は13人で、3年連続で合格者数が全国の女子大でNo.1(大学院、通信制大学除く)を達成しました。合格率61.3%と厳しい状況の中、輝かしい成績を残しています。

報告

美容師国家試験 2年連続の全員合格

第31回美容師国家試験に美容コースの2期生14人全員が合格しました。合格率の全国平均は88.9%でした。2年連続の全員合格という結果は、学生のひたむきな姿勢と教員のきめ細かいサポートによるものです。

健康栄養学科

石蔵文信教授が吹田市から感謝状贈呈

石蔵教授は自転車をこいで発電し、エネルギー源とする可能性を探る「日本原始力発電所協会」の設立など、ジャンルを超えたユニークな活動でも知られています。この度、発電式自転車の無償貸与が健康増進の推進、節電意識の高揚に貢献したということで吹田市から感謝状が贈呈されました。



康増進の推進、節電意識の高揚に貢献したということで吹田市から感謝状が贈呈されました。

ト、スタイリングなど得意な分野にエントリーし、その腕を競う大会です。●さんは「自信ができました。次は1位を目指して頑張ろうと思います」と意欲をみせていました。

美容学生のフォトコンテスト
美容コースの学生が優秀賞を受賞

美容学生のフォトコンテスト「Egg PHOTO COLLECTION 2015」で被服学科化粧品専攻美容コース3回生の●●●●●さん、■●●●●さん、▲▲▲▲●さん、★★★●●●●●さんのチームが優秀賞を受賞しました。美容の楽しさや難しさ、表現することの喜びを感じることを



受賞

ライフプランニング学科の●●●●●さん、■●●●●さんが新体操で大活躍

ライフプランニング学科1回生の●●●●●さん(右)が第65回西日本学生体操選手権大会・新体操の部で優勝しました。ボール1位、フープ1位、クラブ2位、リボン3位となり、総合1位に輝きました。●●●●●さんは「思い通りの演技ができない部分もありました。8月に行われる全



AGG四大陸選手権大会で新体操のシニア、チルドレンチームがともに2位

5月3日(日)~5日(火・祝)、長野市で開催された「第2回AGG四大陸選手権大会」で、高校生・大学生の混合で出場したシニアチーム、中学生のチルドレンチームがともに2位という素晴らしい結果をおさめまし



た。大会にはアメリカ、カナダ、マレーシア、香港、日本の5カ国が出場。海外のチームに負けないようメンバーがひとつになって完成度の高い演技を披露しました。

関西美容学生No.1コンテスト
美容コースの●●●●●さんが3位入賞

被服学科化粧品専攻美容コース2回生の●●●●●さんが関西美容学生No.1を決めるコンテスト「BEAUTY×BATTLE」のアップスタイル部門で3位入賞しました。美容のプロを目指す学生がカットやヘアセッ



を目的にしたコンテストです。作品のタイトルは「キャラメルフラペチーノ」。4人は「壁にクレヨンで描いた羽や本物のケーキをかぶりつく雰囲気工夫して仕上げました」と話しています。

●●●●●さんが全日本バントワーリング選手権
でグランドチャンピオン

被服学科4回生の●●●●●さんが3月27日(金)~29日(日)にさいたま市で開かれた「第40回全日本バントワーリング選手権大会」フリースタイルペアでグランドチャンピオンに輝きました。



高校生の●●●●●さんが歌のオーディション番組で準優勝

樟蔭高校3年生の●●●●●さんが次世代シンガーを発掘する歌のオーディション番組「Sing! Sing! Sing!」で準優勝という素晴らしい評価を受けました。半年にわたって行われた予選を通過し、決勝ラウンドへ進みました。オンエアされた映像からは歌唱力の高さはもちろん、素直な明るい人柄もしっかりと伝わっています。小学6年から歌い始めたという●●●●●さんは「うれしい気持ちや悲しい気持ちを歌で表現するのが楽しい」と話しています。



中学校・高校

華麗な演技を披露 第5回身体表現コース開設記念発表会

第5回身体表現コース開設記念発表会を5月5日(火・祝)、東大阪市立市民会館で開催しました。身体表現コースは、勉強とクラブを両立させながら、全国レベルの選手を育成することを目的に2011年に開設。生徒たちの演技は年々、レベルアップしています。

当日は、全国大会などで連続「金賞」を受賞し、「JAPAN CUP2014」で優勝したバントワリング部をはじめ、ダンス部、新体操部、身体表現コース2年桜組が華麗で迫力ある演技を披露、卒業生やジュニアチームのメンバーも美しく堂々と演技しました。また、賛助出演した吹奏楽部が会場をより一



層盛り上げました。

開場前から多くの方が並び、会場は立ち見がでるほど大盛況でした。来場者から「レベルの高さに驚きました」「感動しました」などうれしい言葉をいただきました。

活動報告



「樟蔭CUP」を開催しました

第5回新体操「樟蔭CUP」を3月21日(土)～24日(火)、新体育館で開催しました。この大会は国内外の選手と一緒に競技することで、新体操部の実力を向上させることを目的に毎年開催しています。回を重ねるごとに華やかさを増し、技術レベルも上がっています。今年は全国から集まった新体操クラブチーム33チームと、海外から韓国、台湾、香港、マレーシアの6



チーム300名以上参加しました。

色鮮やかな衣装をまとった選手は、音楽に合わせてリボンやクラブを操り、息の合った演技で観客を魅了しました。



活動報告

球技大会 白熱した試合を繰り広げました



6月17日(水)、18日(木)に球技大会を開催しました。

中学生はクラスで数チームをつくり、チーム対抗の総当たり戦です。中学1年生はバスケットボール、中学2年生がバレーボールでした。点が入った時、点を取られた時の掛け声をチームごとに統一するなどチームワークの良さが引き立っていました。

高校生はクラス対抗のトーナメント方式になります。高校1年生がバスケットボール、高校2年生がソフトボール、高校3年生がバレーボールでした。悪天候のため、ソフトボールの準決勝、決勝戦が中止になってしまったのが残念でしたが、2日間、生徒たちは白熱した試合を繰り広げました。

活動報告



「樟蔭キッチンガーデン」で野菜を作っています

「安心できる食材を自分たちで育て、収穫し、食べる」。これを実践するために、キャンパスプラザの南側に栽培用地「樟蔭キッチンガーデン」ができました。

健康栄養コースの生徒が中心となり、食の安全を自ら高めていくための取り組みです。料理研究家の田中愛子先生(健康栄養コース教育アドバイザー/大学・教授)の特別授業「食卓のフィロソフィー」などを通じて、土と料理と栄養を考え、実際に育てた野菜を料理に活かす方法も学びます。開始日となった4月22日(水)には、鍬の使い方や、



畝の立て方などを学び、キュウリ、ナス、パプリカ、トマトなどの苗を植え付けました。今後も野菜や果物などを植えていく予定です。



活動報告



幼稚園

保護者向けの食育講座を開催しました

幼稚園では日ごろから園庭で野菜を育て、収穫し、食べることを通して食への興味や関心を育てています。温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、季節の野菜を取り入れ、栄養価も考えた「美味しい給食」に取り組んでいます。

5月27日(水)、高校の調理実習室にて保護者向けの食育講座「作って食べよう簡単クッキング～お弁当に使える簡単レシピ～」を開催しました。講師は幼稚園の特別メニューの監修や食育だよりを作成する高校家庭科担当の尾崎幸子先生、岩井優美先生。園児が普段使っているお弁当箱を持参した保護者の方々は、スパニッシュオムレツやニンジンのグラッセなど4品を作り、お弁当箱に詰めて仕上げました。両先生による健康や栄養についてのお話を交えながら、和やかな食育講座となりました。



報告

幼稚園には仲間がいっぱい

幼稚園にはウサギ、文鳥、カメ、金魚、メダカなどかわいい動物たちがいっぱいいます。

今年の春、新たにウコッケイの親子がやってきました。お母さんと8羽の雛です。雛は元気いっぱい走り回って、園児を楽しませています。

園児は雛にエサをあげたり、そーっと触ったりして、雛の成長を見守っています。雛の親子から親子の愛、雛を大切に思う気持ち、生命の素晴らしさを子どもたちは日々教えてもらっているようです。



報告

WingBEAT!
～はばたくSHOIN GIRL～

行動を起こした先に
チャンスと学びがありました

学芸学部ライフプランニング学科4回生



ライフプランニング学科の学生有志チーム
「てんてこパズル」リーダー

ライフプランニング学科の有志チーム「てんてこパズル」が「第13回 MADE IN OSAKA CM AWARDS」(2014年)(大阪広告協会主催)の学生部門のラジオCM最優秀賞を受賞しました。リーダーの●●●●さんは「うれしかった。行動を起こしたからこそ、チャンスや結果が得られたんです」と振り返ってくれました。



CM AWARDSの表彰式で最優秀賞を受賞して、喜びを語る●●さんと受賞トロフィー(左)

「てんてこパズル」の結成

メンバーはライフプランニング学科、加藤卓哉教授のゼミ生8名。個性が強いと言うか、文学少女もいれば、ゲームやキャラクター好き、根っからの大阪人もいます。自分のことをシンデレラの生まれ変わりや信じているメンバーまでいます。私は「暴走機関車」と言われていました。こんなメンバーですからチーム名は、いくつもの困難に「てんてこ舞い」しながら、それぞれのピースが役割を果たし、ひとつのカタチを作り上げる、そんな意味を込めました。

CM制作に挑戦

「こんななんあるけど?」「やってみます!」。CM制作は加藤先生と交わした会話から始まりました。いくつかあった課題の中から三河屋製菓株式会社の「えびみりん焼」を選び、若い人に面白いと思ってもらえるようなCMを作ることになりました。コンセプトやキャッチコピーを話し合い、録音するという流れでした。すべてが手探り。途中で意見が衝突したり、思い通りに進まなかったこともあり。夏休みに集まって話し合ったり、夜遅くまで学校に残ってラジオ収録をして完成させました。応募した



「えびみりん焼」の音を録音する様子

5本の作品の中から1本は最優秀賞、もう1本が優秀賞に選ばれました。先生からメールで受賞の知らせをもらったときは、飛び上がるほどうれしかったです。

実は1年前の表彰式を見に行った時、「受賞してあの場に立ちたい」とひそかに心に決めました。その思いが強くて、メンバーを巻き込んでしまった感じです。とにかく、みんなで一つのことをやり遂げたい。そう思ったんです。



Profile ●●●●●●●● 和歌山県出身。和歌山県立海南高校卒業。学芸学部ライフプランニング学科4回生。

プレゼンテーション大会に挑戦

学生時代にはプレゼンテーションの面白さも知り、夢中になって学びました。その腕試しのつもりで、日本ビジネス実務学会第51回近畿ブロック研究会「学生によるプレゼンテーション大会」に出場。最優秀賞をいただきました。「ラジオCM 制作から得たこと」と題して、メンバーとともに目標を達成するまでの過程を話しました。受賞できたのは「てんてこパズル」のみんながいてくれたから。メンバーには感謝の気持ちでいっぱいです。

何かひとつ本気で遂げてほしい

「本気だったから受賞できたんだね」。父が言ってくれた言葉です。すいぶん昔に父から聞いた「本気」の定義のことを思い出しました。定義は「自分で決める」「継続する」「楽しくなる」「援助が集まる」です。この4つが全て当てはまっていた。この並々ならぬ達成感の本気だったからなんだと実感しました。ライフプランニング学科は幅広いチャンスに巡り合える学科です。もらったチャンスを見過ごさず、掴んでほしい。何かひとつ本気になってやり遂げてほしいと思っています。



日本ビジネス実務学会第51回近畿ブロック研究会「学生によるプレゼンテーション大会」最優秀賞受賞。「第13回MADE IN OSAKA CM AWARDS」学生部門のラジオCM最優秀賞、優秀賞を受賞。課外活動等表彰において「てんてこパズル」が学長賞団体を受賞。



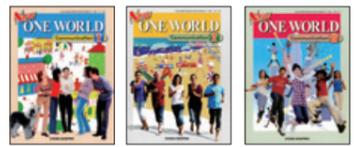
報告
ご卒業
ご入学
おめでとうございます

3月に幼稚園45人、中学校90人、高校291人、大学533人の卒業生たちが巣立っていきました。大学の関屋キャンパスでは最後の卒業式となりました。樟蔭での思い出を胸に、新しい世界で活躍してほしいと願っています。そして4月には、幼稚園35人、中学校92人、高校316人、大学685人の新入生が入学。大学は全学部学科が集結した初めての入学式となりました。



BOOK Info. 書籍紹介

大学 児童学科
菅 正隆 教授 共著
「NEW ONE WORLD Communication I . II . III」
(各171頁/2015.1.20 教育出版株式会社)
高等学校外国語科目『コミュニケーション英語 I . II . III』の文部科学省検定教科書。全国約10万人の高校生が使用しており、次期改訂時には、樟蔭学園を取り扱うレッスンが2年次に登場予定である。乞うご期待である。



大学 国文学科
中 周子 教授 著
「拾遺和歌集論攷」
(全290頁/2015.3.20 和泉書院)
『枕草子』や『源氏物語』と同じ王朝文化の最盛期に成立した『拾遺集』。しかし、その編纂過程には謎が多く、研究書も少ない。本書は『拾遺集』の編纂意図と方法、表現の特色、後代への影響を考察し、和歌史上において正当な位置づけを行った一冊である。



大学

ホステリング部



左から●●●●さんと■■■■■さん

大学のホステリング部の歴史は古く、昭和38年に同好会として発足しました。翌39年にクラブに昇格し、活動を続けています。

ホステリング部って何?と聞かれると、部長の●●●●(健康栄養学科3回生)さん、副部長の■■■■■(健康栄養学科2回生)さんはこう答えます。「ユースホステルを利用して全国各地を旅するクラブなんです。さまざまな文化に触れ、多くの人と出会って、視野を広げることが目的にしていると楽しそうに話します。

Q クラブの雰囲気や活動内容は?

A ●●●●さん(以下、●●●) 部員は3回生が1人、2回生7人、1回生4人の12人で活動しています。とにかく仲良しで、全員、食いしん坊。年2回の合宿は食べる事が中心になっています。3月の春合宿は福岡へ行き、博多ラーメンやもつ鍋を食べてきました。夏は広島を旅する予定です。



2013年夏合宿。小豆島でシーカヤック



後期交かん会

■■■さん(以下、■■■) 他大学との合同イベントが多いのも特徴です。関西では22大学に同様のクラブがあります。大阪市内の8大学が集まって泊する「全阪ホステリング」や子どもたちをキャンプに連れて行く「ジュニアキャンプ」、情報交換や交友の意味を込めた「交かん会」などがあります。青少年健全育成を掲げるユースホステル運動の精神に基づいて活動しています。

Q ホステリング部に入ったきっかけは?

A ●●● 「ジュニアキャンプに参加できる」と聞いて入部を決めました。小学生のころ、地域のジュニアキャンプに行くのが楽しみでした。リーダーの大学生が格好良く、私も大学生になったら、そうなりたと思っていました。■■■ 入部するまで、ユースホステルに泊まったことがありませんでした。でも、キャンプと他大学との交流ができると聞いて入部を決めました。

Q 学びや楽しさは?

A ●●●■■■ いろんな人と関わることで、自分自身も成長できます。●●● 今年の合同新入生歓迎会で実行委員長を務めました。170人の前で挨拶したんです。もともと人前で話すのが大の苦手で大学生になっても、クラス全員の前で自己紹介する時も声が震えるほどでした。そんな私が部長を経験して、大人数の前で話せるようになりました。緊張や苦手意識が克服できた気がします。■■■ 性格自体が明るくなった気がします。人

見知りですし、自分から話しかけるのが苦手なタイプでした。入部して、大学、学科、学年の枠を越え、仲良くなれたことがとてもうれしいです。立候補して副部長になったことを話すと、高校時代の友人は驚いていました(笑)。

Q 今後は?

A ●●● ホステリング部はただ旅行をする部活ではなく、他大学の人と交流を深めることができるのも魅力の一つでもあるので、今後も積極的に参加していきたいです。また、この歴史あるホステリング部の伝統を今後も引き継いでいきたいです。■■■ 合宿や学園祭など部内のイベント、他大学との合同行事のほか、ユースホステル協会が主催する行事などもたくさんあります。積極的に参加して、活動の幅を広げたいと思っています。



ホステリング部のパーカーを着て

クラブ活動報告

~各クラブの結果と今年度の活動状況をお伝えします~

※試合当時の学年で表記しています

中学校・高等学校

バトントワリング部

<中学校・高校>
結果
第40回全日本バトントワリング選手権大会(3/27~3/29)
◆スリーバトン 第1位 ●●●●●(現在、中1年桜組)
◆ソロストラット 第4位 ●●●●●(中1年桜組)
◆ヘア 第7位 ■■■■■(中3年桜組)◆▲▲▲(中3年桜組)
活動状況
<中学校・高校>
★第5回身体表現コース開設記念発表会(5/5)
★プロ野球ウエスタンリーグ開幕オープニング(5/9)
★東大阪市民ふれあい祭り(5/10)
★プロ野球交流戦オリックス対阪神オープニング(6/12)
★ジャパンカップ2015(8/28-29)
★第25回バトントワリング大阪府大会(9/21)

ダンス部

結果
<中学校>
第4回ダンス・ガラOSAKA(3/21)
◆カラ部門 審査員特別賞
<高校>
第4回ダンス・ガラOSAKA(3/21)

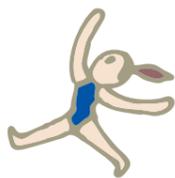


創作コンクール部門 優秀賞

活動状況
<中学校>
★春季総合体育大会(6/7)賛助出演
★ダンススタジアム(8/10)出演
★ダンスコンクール(8/19-20)出演
<高校>
★All Japan Dance Festival(8/5~8/8)出演
<中学校・高校>
★第5回身体表現コース開設記念発表会(5/5)出演
★プロ野球ウエスタンリーグ開幕オープニング(5/9)
★東大阪市民ふれあい祭り(5/10)
★天平祭(8月下旬)

新体操部

結果
Spring Fling Cup(4/3~4/5)
◆シニアの部 優勝 ●●●●●(高1年冬組)
2位 ●●●●●(高2年冬組)
3位 ●●●●●(高1年秋組)
入賞 ●●●●●(高1年秋組)
入賞 ●●●●●(高3年秋組)
入賞 ●●●●●(高3年冬組)
AGG Japan Cup The 2nd Four Continents Championships(5/3~5/5)
◆シニアの部 2位 ●●●●●(高3年冬組)●●●●●(高3年秋組)●●●●●(高3年秋組)



◆ジュニアの部 2位 ●●●●●(中3年桜組)●●●●●(中2年桜組)●●●●●(中2年桜組)●●●●●(中2年桜組)●●●●●(中2年桜組)●●●●●(中2年桜組)●●●●●(中2年桜組)●●●●●(中1年桜組)

全国・近畿新体操選手権大会予選会(6/7)

◆団体の部 3位 ●●●●●(高1年冬組)●●●●●(高1年秋組)●●●●●(高1年秋組)●●●●●(高2年冬組)●●●●●(高3年秋組)●●●●●(高3年秋組)●●●●●(高3年秋組)

◆個人の部 4位 ●●●●●(高1年冬組)

活動状況
★中京カップ(2/11)
★樟蔭新体操発表会(2/15)
★第5回SHOIN CUP(3/21~3/24)
★大阪高校新体操選手権大会(4/27)
★第5回身体表現コース開設記念発表会(5/5)
★第69回近畿大会(6/20-21) 連続35回出場!
★近畿ジュニア予選会(7/23-24)
★中学校近畿予選会(7/25)
★全国総合体育大会(8/4~8/8)

体操部

結果
<中学校>
私学大会(5/23-24)
◆団体総合 2位
◆個人総合 2位
◆種目別 段違い平行棒 3位
平均台 3位

<高校>
春季大会 2部(5/3)
◆団体総合 2位
◆個人総合 6位
9位

◆種目別 段違い平行棒 3位
私学大会(5/23-24)
◆団体総合 5位
活動状況
<中学校>
★大阪一部選手権(7/23-24)
<高校>
★2部大会(8/10-11)
★大阪総合体育大会(8/29-30)

ソフトテニス部

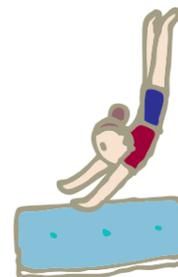
結果
<中学校>
中河内中学校 春季ソフトテニス大会(5/3)
優勝~4位まで独占!

バスケットボール部

結果
<高校>
第69回大阪高等学校バスケットボール選手権大会
◆3回戦進出
活動状況
<中学校>
★大阪府大会(7/19~7/22)
★中河内大会(8/1~8/5)
★東大阪市民大会(8/29-30)
<高校>
★第63回大阪高等学校バスケットボール新人大会(1月)
★第70回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会(7月)

陸上競技

活動状況
<高校>
★第1回地区記録会(4/4)
★地区別記録会(4/18-19)
★大阪インターハイ地区予選(5/4-5)
★大阪総体地区予選会(7/19-20)
★第3回地区記録会(8/2)
★私学大会(9/5-6)
★第4回地区記録会(9/19)
★秋季陸上大会(11/7-8)



剣道部

結果
剣道段位審査会(3/28)
◆二段合格 ●●●●●(高1年冬組)
第62回全国高等学校剣道大会大阪府予選 団体試合(6/14)
◆2回戦進出
活動状況
★第61回大阪高等学校剣道新人大会 個人試合(1/17)
★第61回大阪高等学校剣道新人大会 団体試合(1/25)
★剣道段位審査会(3/28)
★大阪府私立高等学校剣道大会 団体試合(4/29)
★第62回全国高等学校剣道大会大阪府予選 個人試合(6/6)
★第62回全国高等学校剣道大会大阪府予選 団体試合(6/14)
★剣道形講習会(7/18~7/20)
★剣道段位審査会(7/25)
★暑中稽古(8/17~8/19)
★1級認定会(8/23)



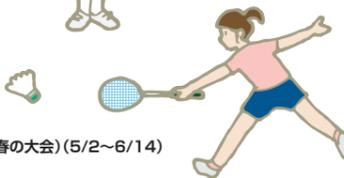
バレー部

結果
春季大会(4/26)
◆4部Fゾーン 優勝 3部昇格
活動状況
★大阪高校総体予選ラウンド(7/25)
★校内合宿(8/16~8/19)
★東大阪夏季大会(9/6)
★大阪私学総体(9/13)



バドミントン部

結果
<高校>
第69回大阪高等学校バドミントン選手権大会(春の大会)(5/2~6/14)
◆団体戦 1回戦進出
◆個人戦 シングルス 3回戦進出
ダブルス 3回戦進出
活動状況
★第63回大阪高等学校バドミントン選手権大会(冬の大会)(1/9~2/7)
★第69回大阪高等学校バドミントン選手権大会(春の大会)(5/2~6/14)
★第70回大阪高等学校バドミントン選手権大会(夏の大会)(8/9~8/21)



吹奏楽部

活動状況
<中学校・高校>
★東大阪市消防出初式(1/11)演奏
★定期演奏会(5/3)開催
★第5回身体表現コース開設記念発表会(5/5)賛助出演
★東大阪市民ふれあい祭り(5/10) 参加
★大阪府吹奏楽連盟コンクール中地区大会(7/26)出場
★秋の全国交通安全運動フonderスクール(9/26)出演
★東大阪こさかJAZZストリート(10/11)出演



箏曲部

活動状況
<中学校・高校>
★大阪府高等学校芸術文化祭 日本音楽部門(1/25)
★大阪私立学校中学高校連盟 芸術文化祭典(10/3)



コーラス&ハーモニー部

活動状況
★プロ野球ウエスタンリーグ開幕「君が代」斉唱(5/9)



写真部

結果
大阪写真月間 ハイスchoolフォトアワード2015(5/10)
◆受賞作品以外で展示する作品 ●●●●●(高3秋組)
活動状況
★春の撮影講習会(6/7)



大学

卓球部

結果
平成27年度 春季関西学生卓球リーグ戦(5/9~5/10)
◆2部校 優勝/1部校 昇格





オープンスクール・オープンキャンパスのお知らせ

※12月末までのイベントを掲載

行事	日程	時間	内容	申込
オープンスクールII クラブ体験会	8月30日(日)	9:30~13:00 ~16:30	全体説明会・体験授業・校内見学・個別相談、クラブ体験など	必要
樟蔭塾	9月12日(土)・19日(土) 10月3日(土)・10日(土)	14:00~15:00	過去の入試問題解説 (8月30日オープンスクールIIにて受付)	必要
中学校 プレテストI	10月17日(土)	8:30~12:30	2教科を出題 (保護者対象学校説明会)	必要
プレテストII	11月15日(日)	8:30~12:30	2教科or4教科を出題 (保護者対象学校説明会)	必要
入試対策講座	12月12日(土)	9:30~12:30	入試説明、入試得点アップの秘けつをお教えます	必要
個別相談会	12月26日(土)	10:00~12:00	個別に学校についての質問を受け、志望校決定のための最終相談会	不要
オープンスクールI クラブ体験会	8月29日(土)	9:30~13:00 ~16:30	全体説明会・体験授業・校内見学・個別相談、クラブ体験など	必要
入試説明会	10月31日(土)	14:00~16:30	国・数・英の入試解説・校内見学・個別相談など	必要
高校 フードスタディコース 特別講座	11月23日(月・祝)	10:00~13:30	健康栄養コース教育アドバイザー・田中愛子先生による受験生を対象とした特別講座 (定員40名)	必要
オープンスクールII クラブ体験会	11月29日(日)	9:30~13:00 ~16:30	全体説明会・体験授業・校内見学・個別相談、クラブ体験など	必要
入試対策講座	12月12日(土)	14:00~16:30	入試説明、入試得点アップの秘けつをお教えます	必要
個別相談会	12月26日(土)	10:00~12:00	個別に学校についての質問を受け、志望校決定のための最終相談会	必要

参加者全員に、「SHOINオリジナルグッズ」をプレゼントします!

■会場：樟蔭中学校/樟蔭高等学校(東大阪市菱屋西4-2-26) ■お問い合わせ：中高幼事務室 TEL: 06-6723-8185

行事	日程	時間	内容	申込
オープンキャンパス	7月19日(日) 8月15日(土) 8月16日(日) 9月6日(日)	10:00~15:00	学科別体験企画/大学概要説明/入試説明会/スイーツフェスタ/キャンパスツアー/保護者向け説明会/個別相談 など	不要
推薦入試対策講座	9月27日(日)	12:30~17:00	大手予備校の人気講師が本学の入試問題の傾向と対策をアドバイス	不要
ミニオープンキャンパス	10月24日(土) 11月14日(土) 12月19日(土)	13:30~16:00	大学概要説明/学科紹介/個別相談など	不要
一般入試対策講座	12月20日(日)	12:30~17:00	大手予備校の人気講師が本学の入試問題の傾向と対策をアドバイス	不要

参加された高校生の方には、もれなく「SHOINオリジナルハローキティ®グッズ」をプレゼントします!

■お問い合わせ：入試広報室 TEL: 06-6723-8274

★オープンスクール・オープンキャンパスの詳細は、本学ホームページ(<http://www.osaka-shoin.ac.jp>)にてご確認ください。

「樟蔭ファミリー入試」が始まっています

[大学]

- I期(面接型):9月12日(土)
書類審査 + 小論文 + 面接
- II期(学力型):11月1日(日)・2日(月)
スタンダード型:基礎学力テスト(2科目) + 調査書
高得点科目重視型:基礎学力テスト(2科目)

2014年度の入試から「樟蔭ファミリー入試」をスタートさせています。大阪樟蔭女子大学(女子専門学校/大学/別科/短期大学(短期大学部)/大学院)の卒業生や在学生の4親等以内の親族が対象となる入試制度です。入学金の半額(14万円)が奨学金として支給される特典があります。試験はI期、II期の2回。I期は面接型、II期が学力型となっています。

詳しくは入試広報室(TEL:06-6723-8274)へお問い合わせください。

中学校・高校ファミリー優遇制度が導入されました

受験生の4親等内に樟蔭附属幼稚園、樟蔭中学校高校、大阪樟蔭女子大学の卒業生がおられる場合は、入学金が半額になる優遇が始まります。

詳しくは中高幼事務室(TEL:06-6723-8185)へお問い合わせください。



平成27年度 大阪樟蔭女子大学・児童学部 小阪キャンパス移転記念
— 子ども知育公開講座 —

■ “知的好奇心”から子どもの考える力を育てたい!

自分で考える力、他者と協力しながら問題に取り組む力が必要になってきます。学ぶ力の基礎を育む幼児期にどのような経験が必要なのか、実践的に考えていきます。

日時:8月24日(月)10:40~12:10 お申し込み締め切り:8月10日(月) 定員:50名

講師:山本一成氏(本学 児童学部講師)

対象:一般社会人(幼児期のお子さんを持つ保護者、幼小教員)、大学生

■ 探検! 発見! 子どもの心をうごかす絵本

講座では幼児向けの絵本とは一味ちがう本をご紹介します。多様な本にふれ、その魅力を知って、子どもとともに本の世界を楽しめる大人を目指しましょう!

日時:8月28日(金)14:40~16:10 お申し込み締め切り:8月19日(水) 定員:40名

講師:神村 朋佳氏(本学 児童学部講師)

対象:一般社会人(子どもの読書、本に興味のある方、保護者、教員)、大学生、高校生、中学生

各講座共通

お申し込み方法:本学ホームページまたはFAXにて①住所②氏名(フリガナ)③年齢④性別⑤電話番号

⑥FAX番号⑦参加希望講座名を必ずご記入の上、下記までお申し込みください。

費用:1人500円(当日支払制)

お問い合わせ:くすのき地域協創センター TEL:06-6723-8237 FAX:06-6723-8302

URL:<http://www.osaka-shoin.ac.jp>



大阪樟蔭女子大学 心理学部

2015年度 小阪キャンパス移設記念 連続講座「心理学の世界 パートII」

■ 思い込みの心理学

コレステロールではないですが、善玉と悪玉の思い込みについてや、思い込みとの付き合い方についてお話しします。

日時:10月31日(土)10:40~12:10 講師:川上 正浩氏(本学 心理学部教授)

お申し込み締め切り:10月21日(水)

■ 心の絆を結ぶアート

人間関係でつまづいた時、方法としてカウンセリングなどがありますが、その中にアートで心をつなぐ方法があります。当日は簡単なアートで体験してください。

日時:11月7日(土)10:40~12:10 講師:高橋 依子氏(本学 心理学部教授)

お申し込み締め切り:10月24日(土)

■ 福祉に活かす心理学

心理学の様々な知識を活かしてその人を理解して、その人の希望を現実にする技術を知ってもらおうと思います。

日時:11月14日(土)10:40~12:10 講師:西 友子氏(本学 心理学部准教授)

お申し込み締め切り:10月31日(土)

■ 自立と依存をめぐる家族関係の心理学

「自立と依存」をキーワードにして生涯にわたる心の発達について考えます。

日時:11月21日(土)10:40~12:10 講師:高橋 裕子氏(本学 心理学部教授)

お申し込み締め切り:11月7日(土)

■ 日本基礎心理学会との連携による特別企画「五感の心理学」

絵画、彫刻、音楽、料理、香水などを通じて人に生きる喜びをもたらしてくれる、五感の不思議についてお話しします。

日時:11月28日(土)午前を予定(確定後、HPにてご案内します)

講師:山崎 晃男氏(コーディネーター)(本学 心理学部教授)

お申し込み締め切り:11月14日(土)

各講座共通

お申し込み方法:本学ホームページまたはFAXにて①住所②氏名(フリガナ)③年齢④性別⑤電話番号

⑥FAX番号⑦参加希望講座名をご記入の上、下記までお申し込みください。

お申し込み締め切り:まとめて申し込みの方は10月21日(水)

対象:一般社会人、大学生、高校生

費用:秋期5回 3,800円(高校生は無料、11/28のみ受講料無料)(事前振込制)

各回個別に1,000円でも申し込み可能

お問い合わせ:くすのき地域協創センター TEL:06-6723-8237 FAX:06-6723-8302

URL:<http://www.osaka-shoin.ac.jp>



樟蔭ホームカミングデー 2015 「くすのき祭」と同時開催

ホームカミングデーは、卒業生の皆様に懐かしい学園に戻っていただき、懐かしい先生やお友達と大いに語り、合わせて現在の学園の様子をご覧いただくなど、楽しい時間を過ごしていただきたいという、学園の願いから企画されたイベントです。

今年は、新校舎が完成し、学部学科が集結して賑やかになったキャンパスでの開催となります。対象となる皆様は、ぜひお友達やご家族と一緒に、ご参加ください!

(※対象の方へは、9月末頃ご案内を送らせていただきます)

日時: 10月24日(土) 11:00 ~ 16:00(予定)

対象者: 学園各校の卒業生で、平成27年4月~28年3月末までに、30歳・40歳・50歳...など10歳毎の区切りの満年齢をお迎えになる学年の方。

お申し込み方法: 対象の方には、ご案内を送付します(9月末頃発送予定)。案内状に同封するハガキにて、お申し込みください。案内状が届かない方は、下記へお問い合わせください。

お問い合わせ: 樟蔭学園 100周年記念事業本部「ホームカミングデー係」

〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26

TEL: 06-6723-8152 FAX: 06-6723-8263 E-mail: 100th@osaka-shoin.ac.jp

第65回くすのき祭/大学・大学院

日時: 2015年10月24日(土) 10:00 ~ 18:00・25日(日) 10:00 ~ 16:00

今年のテーマは「color~いろいろどりの想い~」です。

Colorにはそれぞれの個性という意味を含めました。今年はキャンパスが統合し、すべての学部学科が集まりました。さまざまな個性を認め合い、協力し合うことで、今まで以上に盛り上がる学園祭を行いたいという思いからです。また、夢や希望に向かって努力する学生ひとりひとりの思いを感じてもらおうとサブテーマを「いろいろどりの想い」としました。

当日は、新しくなったキャンパスの雰囲気を感じていただけるよう、イベント・コンテスト・模擬店など皆様に楽しんでもらえたらと考えています。お時間がございましたら、ぜひ気軽に遊びに来てください。

お問い合わせ: キャンパスライフサポート(学生支援課) TEL: 06-6723-8279



若葉祭(文化祭)/中学校・高校

日時: 9月27日(日)

開催時間: 10:00~15:00

テーマ: 「new one step」

場所: 樟蔭中学校・高校

●受付にて、お名前と最終卒業校と卒業年度をお伝え下さい。

お問い合わせ: 中高幼事務室 TEL: 06-6723-8185



同時開催

同窓生向けの学校説明会

15時より樟蔭中学校・高校の学校説明会を行います。

この機会に現在の樟蔭をよく知ってください。

フラワーアレンジメント教室 受講生募集!

季節のかわいいお花を使って素敵なオブジェを作ります。随時募集をしていますので、お気軽にご参加ください。

稽古日: 毎月第2水曜日(8月は休み) 時間: 13:00 ~ 17:00(随時)

対象: 在学生、保護者、卒業生 実習費: 1回 4,000円

場所: 同窓会館2階

お問い合わせ: 同窓会館 事務室 TEL: 06-6725-6157



第45回「樟展」

卒業生の交流を目的に、毎年開催しています。森彰朗前理事長の絵画や卒業生の方々の絵画、書、陶器などの作品を展示します。

会期: 10月22日(木) ~ 10月25日(日) 時間: 11:00 ~ 18:00

場所: 上方「銀花」ギャラリー 〒577-0802 東大阪市小阪本町1-8-12 TEL: 06-6725-3320

お問い合わせ: 樟蔭学園 100周年記念事業本部 TEL: 06-6723-8152



訃報

謹んでお悔やみ申し上げます

◆辰馬慎吾さん(学園元常務理事)平成27年4月20日逝去(享年89歳)

昭和26年4月、大阪樟蔭女子大学職員着任/昭和45年4月~平成5年3月、同事務局長
平成3年4月~平成17年3月、理事/平成5年4月~平成10年3月、常務理事
平成17年4月~平成21年3月、顧問

◆藤原護さん(学園元理事)

平成27年5月17日逝去(享年97歳)
昭和37年11月~昭和47年3月、監事
昭和47年3月~平成15年3月、理事

FORUM

●皆様とのコミュニケーションスペース

新任教員紹介

※写真はホームページでは公表しておりません。

(順不同)

<p>学芸 国文 教授 東野 敏夫 (ひがしのとしお)</p> <p>書道の指導者としての基礎的な知識や技術や多様な表現法を楽しく習得できるよう指導・助言します。よろしくお願ひします。</p>	<p>学芸 ライフプランニング 教授 田中 愛子 (たなか あいこ)</p> <p>「食」の大切さを伝えるには、「お料理」することが大切。「料理」技術を体得し、「料理」理論を学び、楽しく美味しく授業を進めたいと思っています。特に次世代に手渡したい「日本料理」などは地元大阪野菜などを使って新たな試みに挑戦したいと思っています。</p>	<p>健康栄養 健康栄養 教授 津川 尚子 (つがわ なおこ)</p> <p>「身体は食べるもので作られる」。疾病予防における栄養の大切さを学び、皆さんが「さすが樟蔭女子大学」といわれる学生になれるよう努力します。</p>	<p>健康栄養 健康栄養 教授 瓦家 千代子 (かわらやちよこ)</p> <p>「樟蔭の卒業生であることを誇りに思う教育を心がけ、熱い教員の一人として樟蔭学園の発展に寄与できるよう精一杯努力して参ります。」</p>	<p>学芸 国文 准教授 奈良崎 英穂 (ならさき ひでほ)</p> <p>創作する行為は、自分の内部にあるものを解き放つことでもあると思います。それを他人にうまく伝える手段を、一緒に探って行ければと思います。</p>
<p>学芸 国文 講師 嶋崎 さや香 (しまざき さやか)</p> <p>身近な図書館には魅力がいっぱいです。図書館の魅力とそこで必要とされる知識や技能を一緒に学びましょう。</p>	<p>学芸 国際英語 講師 杉本 香 (すぎもと かおる)</p> <p>外国人に日本語を教える日本語教員養成を担当しています。広くて楽しい世界を紹介したいと思っています。</p>	<p>学芸 国際英語 講師 ジョージ シャーフ</p> <p>I am pleased to have the opportunity to contribute to the International English Department here at Shoin. My research areas include intercultural communication, creativity, and study abroad. よろしくお願ひします!</p>	<p>学芸 ライフプランニング 講師 濱田 信吾 (はまたしんご)</p> <p>フードスタディコースを担当させていただきます。挑戦したいと思える学びの種を蒔く教育を常に目指して参ります。</p>	<p>健康栄養 健康栄養 講師 濱垣 綾子 (はまがき あいこ)</p> <p>食育の重要性や栄養教諭の役割について、みなさんと考えることを楽しみにしています。よろしくお願ひします。</p>
<p>児童 児童 講師 豊島 久美子 (よしまくみこ)</p> <p>音楽を担当致します。仲間と共に音楽を楽しむことを通じて、他者の気持ちを思いやる力身につけていただけるよう頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。</p>	<p>児童 児童 講師 高宮 明子 (たかみやあけこ)</p> <p>専門領域は特別支援教育。児童学科で施設実習の指導を担当しています。好きな言葉は「一期一会」です。よろしくお願ひ致します。</p>	<p>健康栄養 健康栄養 助教 高橋 志乃 (たかはししの)</p> <p>ひとりひとりが主体性を持ち、学びの楽しさを見出し、もたらえるように頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。</p>	<p>高校 国語科 常勤講師 中西 宏実 (なかにひろみ)</p> <p>縁あって、母校であるこの学園にお世話になることになりました。尽力したいと思いますので、宜しくお願ひ致します。</p>	<p>幼稚園 専任講師 中川 朋香 (なかがわともか)</p> <p>樟蔭幼稚園で働かせて頂くことになり、大変嬉しく思います。笑顔を忘れずに頑張ります。よろしくお願ひ致します。</p>
<p>高校 英語科 常勤講師 藤井 蓉子 (ふじいようこ)</p> <p>わかりやすい英語の授業ができるよう、精一杯努力して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>	<p>高校 数学科 常勤講師 宮部 貴行 (みやべたかゆき)</p> <p>数学科の教員として、生徒に数学の魅力伝えるよう、楽しい授業を行っていきます。よろしくお願ひします。</p>	<p>中学校 国語科 常勤講師 水田 有咲 (みずたありさ)</p> <p>母校に教員として戻れた嬉しさとともに、学ぶことの楽しさ、日々の学びを大切に励んで参りたいと思います。宜しくお願ひ致します。</p>	<p>中学校 保健体育科 常勤講師 岸本 功喜 (きしもとこうき)</p> <p>生徒一人一人が情熱を持って、取り組める何かを見つけてお手伝いが出来ればと思います。</p>	<p>教育開発部 学修支援課 課長代理 竹内 さおり 学生支援部キャリアセンター 課長代理 服部 和美 学生支援部キャリアセンター 主任 石嶺 陽子</p>

人事

<p>退任 (2015.3.31付)</p> <p>●評議員 内橋 歳夫</p>	<p>坂本 恵昭/東野 恵美子 山口 和夫/山口 良子 芳野 操</p>	<p>中学校/教頭 廣畑 尚</p>	<p>●大学/職員 教育開発部学修支援課 竹内 さおり/日下 英子 辻 敬子/橋本 久美子 教育開発部教育企画課 井貝 正世/飼鳥 愛弓 加藤 佑香 地域連携支援部くすのき地域 協創センター 谷口 妙子/谷内 仁美</p>	<p>●法人/職員 英語教育センターコーディネーター部長代理待遇 山岡 賢三</p>	<p>教育開発部学修支援課 課長代理 竹内 さおり 学生支援部キャリアセンター 課長代理 服部 和美 学生支援部キャリアセンター 主任 石嶺 陽子</p>
<p>退職 (2015.3.31付)</p> <p>●大学/教員 有田 節子/北山 晴一 甲村 弘子/佐久間 貴士 ジェイソン モーザー 瀬々倉 玉奈/塚本 裕三 土井 聖陽/中路 信子 夏目 誠/肥田 美代子 藤本 いく代/南 明美 宮崎 彰夫/森田 園子 山本 千昭</p>	<p>●幼稚園/教員 小林 亜矢美</p> <p>●大学/職員 岡崎 幸子(2015.5.31付) 辻内 瑛子(2015.5.31付)</p>	<p>新規採用</p> <p>●大学/職員 庶務課 明石 真由美</p>	<p>●大学/職員 庶務課 明石 真由美</p>	<p>●大学/職員 事務部長代理(教育開発部担当) 下山 貴宏 事務部長代理 (学生支援部・地域連携支援部兼務) 吉田 敏之 庶務課 課長 森本 康平 地域連携支援部くすのき地域 協創センター 課長 吉川 淳</p>	<p>●大学/教授 安藤 真美 木村 雅浩</p> <p>●大学/准教授 栗原 晶子</p>
<p>任用(再任を除く)</p> <p>●評議員 細野 昌彦</p> <p>●役職 中学校/副校長 高木 秀真 高校/教頭 近藤 眞太郎</p>	<p>●任用(再任を除く)</p> <p>●法人/職員 経営戦略室室長 桑 幹夫 経営戦略室経営企画課 大江 重治 入試広報室 幸西 雄一郎/杉中 照代</p>	<p>異動</p>	<p>昇任</p>		

寄付金応募へのお礼 ※平成27年1月1日~平成27年5月15日までに、「中学校・高校教育環境設備寄付金」にご寄付いただいた方を掲載しています。以降につきましては、次回号に掲載予定です。
この度、多くの皆様から寄付へのご応募を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。皆様からの温かいご支援を励みに、教職員一同で今後ともより良い学園づくりに努めて参ります。
[寄付者の芳名](敬称略・順不同)

※ホームページでは寄付者の芳名を公表しておりません。

学園を支えてくださる皆様へ

樟蔭学園は、創立100周年という大きな節目に向かおうとしております。次世代にも誇れる学園として更なる飛躍を遂げるため、皆様からの温かいご支援をお願いいたしたく、寄付金にご協力くださいますようお願い申し上げます。寄付制度の詳細につきましては、100周年記念事業本部へお問い合わせください。

問い合わせ窓口

100周年記念事業本部
TEL: 06-6723-8152
FAX: 06-6723-8263

学校法人樟蔭学園 平成26年度決算概要

平成26年度決算が、5月27日の理事会で承認されました。

資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表の概略を掲載し、併せて「学校法人会計の特徴」及び「財務比率」についても説明致します。

なお、樟蔭学園のホームページにおいても、財務状況について開示しております。
http://www.osaka-shoin.ac.jp/disclosure/finance/ からご確認ください。

(1) 資金収支計算書の概要 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位 千円)

収入の部					
科目	平成26年度	平成25年度	増減	増減率(%)	備考
学生生徒等納付金収入	3,354,488	3,489,199	△ 134,711	3.9%	☆
手数料収入	63,611	57,149	6,462	11.3%	☆
寄付金収入	119,974	97,174	22,800	23.5%	☆
補助金収入	1,043,877	793,048	250,829	31.6%	☆
資産運用収入	127,977	82,196	45,781	55.7%	☆
資産売却収入	3,043,676	1,895,741	1,147,935	60.6%	
事業収入	34,607	36,829	△ 2,222	6.0%	☆
雑収入	162,682	173,420	△ 10,738	6.2%	☆
借入金等収入	4,550,000	900,000	3,650,000	405.6%	※長期借入金
前受金収入	305,574	572,652	△ 267,078	46.6%	
その他の収入	2,463,274	902,955	1,560,319	172.8%	
資金収入調整勘定	△ 127,977	△ 818,131	△ 135,005	16.5%	
前年度繰越支払資金	567,626	957,622	△ 389,996	40.7%	
収入の部合計	14,884,230	9,139,854	5,744,376	62.9%	
支出の部					
科目	平成26年度	平成25年度	増減	増減率(%)	備考
人件費支出	3,101,627	3,108,511	△ 6,884	0.2%	☆
教育研究経費支出	1,212,722	1,017,120	195,602	19.2%	☆
管理経費支出	420,621	381,379	39,242	10.3%	☆
借入金等利息支出	5,431	1,943	3,488	179.5%	
借入金等返済支出	677,000	67,060	609,940	909.5%	
施設関係支出	3,659,591	3,483,172	176,419	5.1%	※1
設備関係支出	248,337	89,629	158,708	177.1%	※2
資産運用支出	4,628,118	319,634	4,308,484	1,347.9%	
その他の支出	295,762	375,907	△ 80,145	21.3%	
資金支出調整勘定	△ 333,222	△ 272,127	△ 61,095	22.5%	
次年度繰越支払資金	968,243	567,626	400,617	70.6%	
支出の部合計	14,884,230	9,139,854	5,744,376	62.9%	

☆印は、消費収支計算書の概要を参照。

(2) 消費収支計算書の概要 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位 千円)

消費収入の部					
科目	平成26年度	平成25年度	増減	増減率(%)	備考
学生生徒等納付金	3,354,488	3,489,199	△ 134,711	3.9%	※1
手数料	63,611	57,149	6,462	11.3%	※2
寄付金	122,290	104,401	17,889	17.1%	※3
補助金	1,043,877	793,048	250,829	31.6%	※4
資産運用収入	127,977	82,196	45,781	55.7%	※5
資産売却差額	7,700	6,230	1,470	23.6%	
事業収入	34,607	36,829	△ 2,222	6.0%	※6
雑収入	162,682	180,488	△ 17,806	9.9%	※7
帰属収入合計	4,917,232	4,749,540	167,692	3.5%	
基本金組入額合計	△ 834,278	△ 1,200,205	365,927	30.5%	
消費収入の部合計	4,082,954	3,549,335	533,619	15.0%	
消費支出の部					
科目	平成26年度	平成25年度	増減	増減率(%)	備考
人件費	3,092,508	3,080,533	11,975	0.4%	※8
教育研究経費	1,794,578	1,440,740	353,838	24.6%	※9
管理経費	463,816	422,899	40,917	9.7%	※10
借入金等利息	5,431	1,943	3,488	179.5%	※11
資産処分差額	627,068	244,166	382,902	156.8%	
徴収不能額	2,310	4,290	△ 1,980	46.2%	
徴収不能引当金繰入額	1,365	0	1,365	%	
消費支出の部合計	5,987,076	5,194,571	792,505	15.3%	
当年度消費収支超過額	△ 1,904,122	△ 1,645,236			
前年度繰越消費収支超過額	△ 8,427,505	△ 6,793,504			
基本金取崩額	0	11,235			
翌年度繰越消費収支超過額	△ 10,331,627	△ 8,427,505			

注記内容

※1 学生生徒数は、前年度より高校部門以外で減となり、納付金額は減額となった。大阪府授業料支援等補助金の増額に伴う授業料軽減額の増額を含め、学生生徒等納付金全体としては減収となった。

※2 受験生は、前年度より幼稚園部門以外で増となった。特に大学で大幅な増となり、手数料全体としては増収となった。

※3 樟蔭保護者会・高校中学校PTA・卒業生・教職員等よりの100周年記念事業募金に対する寄付金は増収、現物寄贈の寄付は減収、寄付金全体としては増収となった。

注記内容

※1 本年度の主な施設充実
22号棟(翔空館)23号棟(清志館)完成、高校クラブハウス新築、樟古館(大)(小)移設、北敷地こみ庫設置(3箇所)、3号棟4号棟C耐震補強、14号棟耐震補強(1期)、3号棟4号棟C外付エレベータ設置、3号棟4号棟A4号棟C改修工事、キャンパスプラザ等外構工事、高校・中学無線LAN設置など。

※2 本年度の主な設備充実
22号棟(翔空館) 多目的教室イス・机・AV機器設置、健康栄養学部関連備品、23号棟(清志館) 多目的教室等のイス・机・AV機器設置、学生サポートスクウェア関連等備品、1号棟情報処理実習室リプレイス、ML実習室用電子ピアノ、高校・中学電子黒板設置 など。

※4 補助金全体としては、経常費補助金及び授業料支援等補助金の増額と設備整備費補助金等の採択を主な理由として増収となった。

- 経常費補助金(特別補助金を含む)は6.8%増額[大学2.6%減][高校13.6%増、中学19.6%増、幼稚園1.1%増]
- 私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金(8,282千円)
- 私立大学等研究設備整備費等補助金(電子黒板)(5,000千円)
- 大阪府私立学校耐震化緊急対策事業補助金[耐震補強](1,721千円)
- 授業料支援等補助金は9.5%増額[高校7.8%増、幼稚園44.3%増]
- 私立学校施設整備費補助金[耐震補強](188,536千円)
- 私立学校施設整備費補助金[無線LAN](2,000千円)
- 大阪府私立幼稚園特別支援教育費補助金(2,352千円)

※5 為替の状況により、資金の運用は増収となった。

※6 補助活動収入(大学寮費収入、茶華道繰入収入、幼稚園未就園児クラス収入)の減収を主な理由として事業収入全体としては減収となった。

※7 退職金財団加入教職員の26年度退職者減員に伴う交付金の減収を主な理由とし、雑収入全体としては減収となった。

※8 賞与率見直し、退職金関係を主な理由とし、人件費全体としては増額となった。

※9 小阪キャンパス整備計画に伴う費用、私立大学等教育研究活性化設備整備関連費用、新校舎建築等施設整備に伴う減価償却額増額を主な理由として、教育研究経費全体としては増額となった。

※10 小阪キャンパス整備計画に伴う費用、100周年記念イベント費用を主な理由として、管理経費全体としては増額となった。

※11 小阪キャンパス整備計画に係る市中銀行よりの借入金利息により増額となった。

(3) 貸借対照表の概要 平成27年3月31日

(単位 千円)

資産の部					
科目	平成26年度	平成25年度	増減	増減率(%)	備考
固定資産	21,527,652	21,151,149	376,503	1.8%	
有形固定資産	19,827,762	17,155,582	2,672,180	15.6%	※1
その他の固定資産	1,699,890	3,995,567	△ 2,295,677	△ 57.5%	※2
流動資産	3,087,730	894,545	2,193,185	245.2%	※3
資産の部合計	24,615,382	22,045,694	2,569,688	11.7%	

負債の部					
科目	平成26年度	平成25年度	増減	増減率(%)	備考
固定負債	6,866,987	2,999,630	3,867,357	128.9%	※4
流動負債	811,329	1,039,153	△ 227,824	△ 21.9%	※5
負債の部合計	7,678,316	4,038,783	3,639,533	90.1%	

基本金の部					
科目	平成26年度	平成25年度	増減	増減率(%)	備考
第1号基本金	26,782,693	25,948,416	834,277	3.2%	※6
第4号基本金	486,000	486,000	0	0.0%	
基本金の部合計	27,268,693	26,434,416	834,277	3.2%	

消費収支差額の部					
科目	平成26年度	平成25年度	増減	増減率(%)	備考
翌年度繰越消費収支超過額	△ 10,331,627	△ 8,427,505	△ 1,904,122	22.6%	
負債の部・基本金の部・消費収支差額の部合計	24,615,382	22,045,694	2,569,688	11.7%	

減価償却額の累計額の合計額	10,305,834	10,523,968	△ 218,134	△ 2.1%	
基本金未組入額	3,242,572	931,541	2,311,031	248.1%	

(4) 学校法人会計の特徴

学校法人の決算書は「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」の3つの財務諸表で構成されています。

資金収支計算書は、当該会計年度(4月1日～3月31日)の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金の収入及び支出のてん未を明らかにします。

消費収支計算書は、当該会計年度の消費収入と消費支出(正味財産の増と減)の内容及び両者の均衡状態を明らかにし、学校法人の経営状況を表します。企業会計の損益計算書の目的に類似した計算書となっています。消費収入は、当該会計年度の帰属収入(学校法人に帰属する、負債とならない収入をいう。)を計算し、その額から固定資産を取得するための支出や積立金などで構成される基本金組入額を控除して計算します。消費支出は、当該会計年度において消費する資産の取得価額及び当該会計年度における利役の対価に基づいて計算します。そして、当該会計年度の収支の均衡状態は、当年度消費収支超過額で表します。

貸借対照表は、学校法人の資産・負債・正味財産(基本金+消費収支

差額)を把握し、財政状態を明らかにした、長期的な運営の方向性を決めるための財務諸表です。資金収支計算書と消費収支計算書が単年度ごとの状況を表す一方、貸借対照表は、今までの学校法人の活動を行ってきた積み重ねの結果を表します。企業会計と同じく、借方に資産、貸方に負債を計上します。貸方に「基本金の部」を計上するなどの違いはありますが、企業会計の貸借対照表と構造は似ています。

学校法人の収支状況を見るには、消費収支計算書の帰属収支差額に注目します。帰属収支差額は、帰属収入から消費支出を差し引いたもので、企業会計でいう収益から費用を差し引いた利益に相当するものであります。しかし、学校法人は一般の企業に比べ極めて公共性が高く、安定した経営を維持して行く必要があるため、この利益は利潤ではなく、学校の施設設備等の取得財源や借入金の返済財源となるものです。つまり、帰属収支差額によって、当該年度の施設設備等の充実、借入金返済、将来の施設設備の更新等のための引当特定資産等の充実に

行われることとなります。そして、学校法人会計基準は、その財源(学校法人を継続的に維持すべき財源)に充当すべき額を基本金とし、消費支出に充てる前の帰属収入のうちから控除して組入れる(確保すること)となっています。

帰属収支差額がプラスの場合は、当該年度において自己資金が確保されていることを表し、マイナスの場合は、帰属収入で消費支出を賄えない状態であり、基本的には過年度において蓄積された自己資金を食い潰すか、借金をしない限り経営が成り立たないことを示しています。ただ、収支状況は単年度のみを見るだけでは判断出来ませんので、過去数年間の傾向や今後の収支の予測を考慮する必要があります。一般の企業の経営が利益追求を目的としているのに対して、学校法人の経営は長期安定的に教育研究活動を継続することに主眼がおかれています。学校法人の財務諸表は、学校が、教育研究活動の質的向上を図りながら、いかに安定的な余裕資金を維持し、資産を形成しているかという視点で見ることが重要であります。

学校法人樟蔭学園の平成25年度及び平成26年度の財務比率について

※表欄外の下線付きの数字は、日本私立学校振興共済事業団「今日の私学財政」の平成25年度全国大学法人規模別比率を示します。

※自己資金＝基本金+消費収支差額 ※総資金＝負債+基本金+消費収支差額 ※運用資産＝その他の固定資産+流動資産 ※外部負債＝総負債-(退職給与引当金+前受金)

消費収支計算書関係			
■人件費比率			
人件費	平成25年度	64.9%	49.6%
帰属収入	平成26年度	62.9%	

■教育研究経費比率			
教育研究経費	平成25年度	30.3%	35.2%
帰属収入	平成26年度	36.5%	

■管理経費比率			
管理経費	平成25年度	8.9%	7.7%
帰属収入	平成26年度	9.4%	

■消費収支比率			
消費支出	平成25年度	146.4%	106.2%
消費収入	平成26年度	146.6%	

■貸借対照表関係			
■固定比率			
固定資産の自己資金に対する割合で、固定資産にどの程度自己資金が投下されているか、資金の調達源泉とその使途とを対比させる比	平成25年度	3.9%	26.8%
	平成26年度	-11.7%	

率である。低い方が望ましい。固定資産に投下した資金の回収は長期間にわたるため、本来投下資金は返済する必要のない自己資金を充てることが望ましい。しかし、現実的には大規模設備投資の際には、外部資金の導入をせざるをえない場合が多いため、この比率が100%を超えることは少なくない。このような場合は、固定長期適合率も利用して判断する必要がある。

■自己資金構成比率			
自己資金	平成25年度	117.5%	95.3%
総資金	平成26年度	127.1%	

自己資金の総資金に占める構成割合である。この比率は、学校法人の資金の調達源泉を分析する上で、最も総合的で重要な指標である。この比率は、高いほど財政的に安定しており、50%を割ると他人資金が自己資金を上回っていることを示している。

■内部留保資産比率			
自己資金	平成25年度	81.7%	87.5%
総資金	平成26年度	88.8%	

その他の固定資産(各種引当資産や長期有価証券など)と流動資産(現金預金や短期有価証券など)を合計した運用資産から総負債を引いた金額の総資産に占める割合である。この比率は、有形固定資産以外の資産から総負債を引いた金額が、資産規模に比べてどのくらいあるかを評価する指標である。この比率がプラスであると、その他の固定資産と流動資産で負債総額を全て充当することができ、結果として有形固定資産は自己資金で調達されていることを意味している。プラス幅が大きいほどその他の固定資産と流動資産の合計した運用資産の蓄積度が大きい。一方、この比率がマイナスの場合は、貯蓄された運用資産より総負債が上回っており、財政上の余裕度が少ないことを表している。

■運用資産余裕比率			
(運用資産-総負債)	平成25年度	3.9%	26.8%
総資産	平成26年度	-11.7%	

注記内容

※1 増額の主な理由
22号棟(翔空館)23号棟(清志館)建築等小販わが整備による増額。

※2 減額の主な理由
減価償却引当特定資産への繰入金基準の変更に伴う取崩しによる減額。

※3 増額の主な理由
現金預金及び有価証券(流動)の増額。

※4 増額の主な理由
長期借入金による増額。

※5 減額の主な理由
短期借入金、前受金、預り金の減額。

※6 増額の主な理由
本年度の施設設備の充実及び過年度未組入に係る当期組入による増額。

われることとなります。そして、学校法人会計基準は、その財源(学校法人を継続的に維持すべき財源)に充当すべき額を基本金とし、消費支出に充てる前の帰属収入のうちから控除して組入れる(確保すること)となっています。帰属収支差額がプラスの場合は、当該年度において自己資金が確保されていることを表し、マイナスの場合は、帰属収入で消費支出を賄えない状態であり、基本的には過年度において蓄積された自己資金を食い潰すか、借金をしない限り経営が成り立たないことを示しています。ただ、収支状況は単年度のみを見るだけでは判断出来ませんので、過去数年間の傾向や今後の収支の予測を考慮する必要があります。一般の企業の経営が利益追求を目的としているのに対して、学校法人の経営は長期安定的に教育研究活動を継続することに主眼がおかれています。学校法人の財務諸表は、学校が、教育研究活動の質的向上を図りながら、いかに安定的な余裕資金を維持し、資産を形成しているかという視点で見ることが重要であります。

■運用資産余裕比率			
(運用資産-外部負債)	平成25年度	0.7%	1.5%
消費支出	平成26年度	-0.1%	

一般的に200%以上が好ましい状態であるが、この比率が極端に低い場合には資金流動性に欠け資金繰りが苦しいと判断できる。この比率は、総資産のうち各種引当資産、有価証券、現金預金などの運用可能資産から、総負債のうち外部に返済を迫られる借入金、学校債、未払金などの外部負債を差し引いた金額が、法人の一年間の支出規模に対してどの程度蓄積されているかを表す指標である。この比率が高いほど支出規模に対して資金蓄積が良好であるといえる。

■流動比率			
流動資産	平成25年度	86.1%	308.7%
流動負債	平成26年度	380.6%	

■総負債比率			
総負債	平成25年度	18.3%	12.5%
総資産			

Column-08

『熟年夫婦の生き方』 夫源病の予防は？

大学 健康栄養学部 健康栄養学科 石蔵 文信 先生

いしくらぶみのぶ
●大学 健康栄養学部
健康栄養学科 教授
医学博士
京都府生まれ。
2013年より大阪樟蔭女子
大学に勤務。専門分野は、解
剖生理学。



最近の有名人の離婚のほとんどは妻から夫への三行半である。経済力のある芸能人の離婚のハードルは低いが、定年後の熟年離婚は増えたと言っても介護や経済的問題が大きなハードルとなる。離婚まで行かなくても、熟年夫婦がそれなりに添い遂げる方法はあるのだろうか？

団塊の世代が一齐に定年を迎えてから、長年連れ添った夫婦の離婚が急増している。定年は男にとってはやれやれという思いであるが、まだ元気なのに何もすることがない生活は案外苦痛らしい。仕事一筋で来た男性は仕事関係以外にこれといった趣味もなく、友人関係も希薄である。そのために多くの男性が、定年後に生きる目標を失って自宅に引きこもる。1日中夫が家にいることによって

妻の体調が悪くなるのを“亭主在宅症候群”と呼ばれている。さらに、毎日、夫が家にいて、三食、特に昼食を作ることで1日中束縛される事から妻がうつ状態になることを“昼食うつ”という。定年前は“亭主元気で留守がよい”と自由時間を謳歌していた妻が、夫の定年と共に自由時間を奪われる事が最大の悩みである。これといった会話のない家庭に1日中二人で過ごすと考えただけで虫酸が走るという妻も少なくはない。そんな解決法はあるのだろうか？

強いてやることなくうつになる夫と昼食を用意する事でうつになる妻の解決策は、夫が毎日のように料理を作ることである。そのために、我々は毎日でもできる簡単な料理を習得する講座を頻繁に開催し、テキスト

も出版中だ（男のええ加減料理：講談社）。さらに男性は何か目的がないと社会には参加しないので、男性の社会参加を促す目的で、自転車発電で携帯などの充電をしようとする“日本原始力発電所協会”を設立し、各地で普及活動を展開している。定年後は男らしくたく短く生きるのか？それともおばちゃん化して生きるのか？男性にとって、今後難しい選択を迫られる時期がやってきている。



STAFF @ SHOIN 08

谷内 仁美 さん

くすのき地域協創センター

やち・ひとみ ● 石川県出身。2009年4月から大阪樟蔭女子大学職員。学術振興課を経て、2015年4月から地域連携支援部くすのき地域協創センター勤務。趣味は観劇。



地域と関わる「イキ×ラボ」 ボランティアや課外活動をサポート

この4月、高智館（1号棟）2階に「くすのき地域協創センター」が開設されました。愛称は「イキ×ラボ」です。学生が自分たちの「やりたいこと」を通じ、地域や行政と連携しながら貢献活

動を進めていきます。
私は、地域や行政、企業と学生をつないだり、地域や行政、企業はもちろんです。学生の考えや要望を引き出すなどのコーディネートをしています。また、話しやすい雰囲気を作るようにも心掛けています。学生のミレーティングに顔を出して進捗状況を聞いたり、一緒に現場へ足を運んだりして、学生と近い距離でサポートするようにしています。学生ならではのアイデアをいかして地域が抱える問題を解決していきたいとも考えています。「頼れるお姉さん」になれればうれしいですね。
ボランティアや課外活動に興味を持つ学生が多いことに正直、驚きました。ボランティア希望者は300人を超えていますし、連携プロジェクトへの参加も積極的です。素直で、やる気に満ちた学生が多いと感じています。この仕事をしていてのやりがいは「楽しかった」「参加してよかった」と話す達成感いっぱい学生の顔を見る時ですね。
今後は学生の取り組みを学内外で周知されるよう広報に力を入れたいと思っています。学生時代に企業や自治体の人と一緒に一つのことをやり遂げる経験は必ず役に立ちます。学生にはぜひチャレンジしてほしいと願っています。

※イキ×ラボとは「くすのき地域協創センター」の愛称（イキイキ×ラボラトリー）です。



学校法人 樟蔭学園 大阪樟蔭女子大学/大学院 樟蔭高等学校 樟蔭中学校 大阪樟蔭女子大学附属幼稚園

